

平成 21 年度第 1 回昭島市環境審議会会議要旨
平成 21 年 7 月 29 日（水）午後 18：30～20：30 301 会議室

（出席委員）朝岡幸彦委員 内田信夫委員 小坂克信委員 齋藤祐磁委員
椎名豊勝委員 高橋由美委員 嶽山俊夫委員 寺村健治委員
八尋章文委員 山本真由美委員

（欠席委員）馬瀬優子委員 渡辺秀貴委員

（理事者の出席）北川市長

（事務局の出席）三村環境部長 古谷環境課長 山口計画推進係長
中野環境保全係長 岩波水と緑の係長
高橋みどりの基本計画担当主査

1 開 会

2 委嘱状の交付

3 市長挨拶

4 委員の自己紹介、事務局の自己紹介

5 会長副会長の選任

（事務局から選任は委員の互選によるとの説明をし、委員に諮ったところ委員から事務局の案があればとの意見であったので、会長に椎名委員、副会長に嶽山委員を提示した。）

○高橋委員

議論が白熱した際、分科会などを設けることが出来るかどうか。また、その場合会長にはご出席頂きたいから時間に融通の利く方がよいのではないか。

○市長

分科会の開催については審議の内容によっては考え得る。会長についてはそちらも考慮した上で事務局で案を出しているのでご了承いただきたい。

○事務局

異議が無ければ事務局案で決定したいが如何か。

○委員一同

異議なし

（会長・副会長挨拶）

6 市長より「みどりと水の基本計画」策定に関して環境審議会会長に諮問
(市長退席)

7 報告

(1) 環境課の事務分掌について

(山口計画推進係長から資料1に基づき、計画推進係事務分掌について説明)

○高橋委員

第二次地球温暖化対策実行計画は市役所の中だけの計画か？もう一点、キッズISOについて何名実行したのか？

○事務局

第二次地球温暖化対策に関しては、基本的には市の事務事業に伴って排出されるCO2の削減計画である。

○事務局

キッズISOは平成20年度実績で、入門編は456名、初級編は97名。

(中野環境保全係長から資料1に基づき、環境保全係事務分掌について説明)

○八尋委員

大気質調査について結果は公表しているか？

○事務局

「昭島市の環境」の中で公表している。HPでも公表している。

○八尋委員

経年の変化が知りたいのだが。

○事務局

経年の変化がわかるような資料を後日お示しする。

(岩波係長から資料1に基づき、水と緑の係事務分掌について説明)

○椎名委員

公園の係は別にあるのか？

○事務局

都市整備部管理課の公園管理係が管理している。

○高橋委員

公園が別の課が管理しているとのことだが、みどりの基本計画との絡みも含めてどう協力していくのか。

また、苗木の配付について、苗木の選定はどういった基準で行っているのか。

○事務局

公園はスポーツ利用が中心の公園もあるため都市整備部管理課のほうで一括

して管理している。緑の保全に関しては市全体で取組む事業のため、部は違っても市が一体となって行っていく。

○事務局

苗木に関しては、市民のニーズが高いものから選定。特に大気の浄化効果等あらかじめ調べたりはしていない。

○高橋委員

大型マンションの場合、大型デイスポーターを設置している所もあるが、このような民間の施設の管理はどうしているのか。

○事務局

担当は下水道課であるが、流したものは一旦浄化槽で浄化したのち、処理水のみを公共下水道に流している。定期的なメンテナンスは必要。

○事務局

大型のマンションの建設にあたっては、昭島市開発指導要綱に基づき行っているため、いろいろな項目でチェックが入るようになっている。

○八尋委員

航空機騒音の測定はどこが行っているのか。また、ゴミの減量に関しての担当課はどこか。

○事務局

騒音の測定は環境課にて行っている。ゴミの減量担当は、環境部清掃センター 一 ごみ減量推進係が主管である。

(2) 環境基本計画の進捗状況について

(山口計画推進係長より平成20年度の進捗状況を平成19年度の未実施分を中心に説明)

○八尋委員

項目86番のゴミの排出量の定量的推移がわかるものがあるか。推移がビジュアルでわかるものがあれば見やすい。推移として下がっているのか増えているのか。

○事務局

進捗状況を審議していただいた後、「昭島市の環境」にのせることになっているが、ゴミの推移についても昭島市の環境31ページに記載している。

○椎名委員

定数的な部分と定量的な部分があり、定量的な部分は委員からもとめられれば事務局より希望に応じて提示してもらいたい。

○八尋委員

大変膨大な取組項目なので、市としてどの部分にプライオリティをつけ、そ

の目玉がどのような推移をしているのか、重み付けをすればよいのではない
か。その部分を市民に訴えていき環境に良い施策を進めてもらえれば良いと
思う。

○事務局

現在の環境基本計画は33年までの大変長い期間の計画。23年度に中間見
直しをしていきたい。プライオリティをつけることも場合によっては検討し
たい。現在の計画は優先順位はなくどの施策も平等になっている。

○内田委員

各項目に関して出来た、出来ないはわかるが、各年度に目標値があるのか。
あるとして基準に対しての評価がどうなっているのか。ISOでは計画を立
てる段階で、出来るだけ定量化しろというのが基本だが。

○事務局

出来た、出来ない、過去にやったというような評価方法になっている。今後
については、次回改定の際に定量を示せるものは示したい。

○椎名委員

目標値としての設定は次回の改定時に示されなければならない。現状は前年
度比較で判断していただく。

(3) 審議会の進め方について

(高橋主査より資料3にしたがって説明)

○高橋委員

計画作りにあたって、市民環境団体との懇談会を持つとのことだが、ぜひ消
生連を入れてもらいたい。永年大気汚染調査をやっている。結果として木の
多いところでは汚染も少ないことがわかっている。審議会としては、抽象的
なことではなく具体的な施策を提案していきたい。

○八尋委員

従来の環境基本計画とみどりの基本計画はどういう関係なのか。重なって
いるのか、まったく違う計画なのか。

○事務局

環境基本計画の中で基本目標の①と②と⑤がみどりの基本計画に関係する部
分。環境基本計画のほうが守備範囲が広いが、みどりの基本計画は緑化の部
分を特化したものとなる。今回の改訂はこれに水を加えたもので、上位計画
である環境基本計画と連携を持ちながら策定していく。

○八尋委員

コンサルティング会社はどのように介入するのか。コンサルティング会社が

示したものを審議するのか。

○事務局

あくまでも市が主体でコンサルティング会社は市の指示で業務を行う。今後は市の意向を大枠でまとめ、次の審議会にお示しする。

○椎名委員

分科会については規則上はどうなっているのか。

○事務局

作ってはいけないというような規定はない。

○椎名委員

出てきた案件によると思うが、場合によって止むを得ないときは分科会設置について皆さんにお諮りして決めていきたい。全員で審議できるならそれが一番である。

○朝岡委員

具体的にコンサルティング会社に何を委託するのか、事務局が何をやり、審議会になにを求めているのかを知らないと非常にやりにくい。コンサルティングがすべて下準備をしてしまうと何も意見が反映されない。

昭島市の性格なのかと思うが、市民参加の部分が弱く形式的に感じる。市民が何を求めているか、何を变えて欲しいかはアンケートを取ることになっているが、アンケートの内容如何で反映されないことも出てきてしまう。計画の立て方・進め方としてはオーソドックスだと思うが、これでは市民の意見が反映されないことになってしまうので、その点を来年度工夫してもらいたい。

○事務局

コンサル発注の内容は次回の審議会でご公表してもらい、市民の意見の反映についても検討させてもらいたい。

○高橋委員

市は町・地域に出ていき一緒に懇談会をするなど地域の意見を吸い上げてもらいたい。

○事務局

現在、上位計画である総合基本計画もほぼ同時進行している。ここでも市民意見の吸い上げを行っており、重ならないようにはしたいが、その計画とも連携を密にしていきたい。

○椎名委員

最後の段階でパブリックコメントをもらうというのはどうか。中間にも何か市民の意見の吸い上げをしたらどうか。

○高橋委員

審議の中で環境に携わる市民の意見もいれて、審議会のみで閉じ込められたものではなく広く市民に開かれたものであって欲しい。

○八尋委員

環境基本計画についての進捗と評価について。具体的に環境を学びみんなで取り組むというところで、分別のゴミがどう処理してどう使われていくのかということ順次わかりやすく説明していただくような施策を入れてほしい。

全体的に市の活動内容が都の他市と比べてどうなのかということも示してほしい。また、市民にも何を期待しているのかということもアピールしてもらいたい。例えば福生と比べてどうなのか。競争してもっとよりよい環境に持っていくことが可能ではないか。市民に発信して現在行えることをもっと積極的に進めていけばよいのでは。実質的な改善はどうすすんでいるのかということが知りたい。

○事務局

次回の環境基本計画の改定時にはその辺も盛り込みたい。

○椎名委員

各施策ごとの重み付け、目標設定、というのは次回の環境基本計画でテーブルに載ってくるということか。

○八尋委員

この環境基本計画は平成14年に策定されているということで非常に古い。環境は年々大きく変わっているので、この計画にどんどん改定部分を付け加えていけばよいのでは。計画自体ローリングしていけばよいと思う。

○内田委員

昭島市がISOをとった意味を再確認し、PDCAサイクルをうまく利用していけばいいのではないか。

○椎名委員

評価の中で、次回の基本計画策定時に対する意見を集約し、まとめればよいのではないか。次回の基本計画について直接何かは出来ないが、現審議会として意見を示せるのではないか。

○朝岡委員

現審議会ですることはまず諮問をされている「みどりの基本計画」のことが一番。みどりの計画でまずモデルケースを作って、ステップを踏んでいかなければいけない。上位計画との関係で動くようできて動かない部分もあると思う。その意味でも上位計画の総合基本計画はどう進捗していくのか。

○事務局

みどりの基本計画とほぼ同時進行。おそらく23年3月定例会で議決される

と思う。

○朝岡委員

会長、副会長に調整してもらいたいが、上位計画と関係なく進めていくわけにはいかないので、風通しを良くしてもらって、総合基本計画でどのようなことが書き込まれていくのか、どういう議論があるのか情報をもらいながら審議を進めていかなければならない。

○椎名委員

むこうとこちらでお互いに情報を受け取りながらやってこちらから言うべきことは、審議会の中で審議されていくことになると思う。事務局でそのあたりの細かい調整はやってもらいたい。

○事務局

総合基本計画との調整は事務局の役目だと思う。

○高橋委員

他の自治体で環境政策が進んでいるところの話も聞きたい。日野市などは進んでいると聞くが。

○椎名委員

もう少し具体的な審議内容に入ってからでよいのではないか。

○椎名委員

日野は水も豊かであるので、昭島と似た状況もあるかもしれない。近隣他市で良いことをやっていれば、昭島でもうまくいくかもしれないし、事務局で調べてもらうことも必要かなと思う。

(4) その他

次回日程の案内。おおむね11月中旬。後日調整後事務局から連絡する。